

土木計画学研究発表会スペシャルセッション 「特殊車両を取り巻く諸課題」

兵庫県 土木部 道路保全課 田村 晃慈

Contents

Chapter 01 各道路管理者の課題

物流需要の拡大に伴う申請増加 01

便覧収録のマンパワー不足 02

Chapter02 今後の展望

各種ツールの簡易化による業務改善 03

便覧収録の効率化 04

Chapter03 まとめ

特車事務の将来像 05

Chapter01

各道路管理者の課題

物流需要の拡大に伴う申請件数の増加

① 近年のECサイト利用率の高まり

- ・ 2021年のEC市場は前年比7.35%増の20兆6,950億円
- ・ 買い物のチャンネルが実店舗からECに着実にシフト

【経済産業省「令和3年度電子商取引に関する市場調査報告書」】

② 物流業界の人手不足に伴う車両の大型化

- ・ 長時間労働や労働者の高齢化によりドライバー不足が顕在化
- ・ 物流の2024年問題



→ 各道路管理者への特車申請の増加

H27：39万件 → R2 59万件

【国土交通省「特殊車両通行許可制度の概要等について」】

便覧収録のマンパワー不足

① 行政改革による定員数削減

- ・ 地方自治体の多くは便覧担当が1名のみ、管理業務を兼務しているケースも多い
- ・ 年4回の便覧更新では短期間で膨大な情報を登録する必要がある

② 便覧収録ツールの操作方法が複雑

- ・ 都道府県は市町指導を伴うが年度当初に問合せが集中
- ・ 特車申請が少ない地域では担当者が収録方法を把握していないケースあり

→ **道路情報を完全に網羅することが現実的に困難**

便覧更新は年4回に限られるため、
道路現況と完全に一致させることも難しい
(タイムラグが生じる)

Chapter02

今後の展望

各種ツールの簡易化による業務改善

① 申請受付から許可証発行まで一貫して処理できるシステム

- ・ 事務手続がオンライン上で完結するシステム

② 審査・便覧収録ツールの簡易化

- ・ 審査に必要な道路情報を一元的に閲覧できるシステム（附図）
- ・ 便覧収録を直感的に行えるシステム（便覧収録支援ツール）

→ **業務改善による許可証発行までの期間の縮減**

特車申請は処理件数が多いため、
軽易なシステム修正でも大きな業務改善が見込まれる

便覧収録の効率化

① AIによる道路台帳や上空写真からの情報取得

- ・ 現状は全て担当者による手作業
- ・ 特に市町道の便覧収録率を高めたい

② 交差点箇所の新設判定の自動化

- ・ 便覧収録は交差点部の収録作業で最も時間を要する
- ・ 車両の寸法別に通行可否を判定できれば大幅な効率化

→ **便覧情報を充実させることで審査期間の短縮につながる**

令和4年4月1日に運用が開始された
特殊車両通行確認制度の普及に有用である

Chapter03

まとめ

特車事務の将来像

特殊車両通行許可事務の趣旨

- 1 社会の公共財である道路や橋梁の長寿命化を図ること
- 2 重大な交通事故を未然に防止すること

→ 近年はダブル連結トラックの増加など物流の効率化に主眼が置かれており
社会のニーズに合わせた制度設計が必要

物流業界は社会の経済活動を支える「循環器」
特車事務の迅速化・効率化を図り、
適切な道路管理と物流の活性化を両立させる



**Hyogo
Prefecture**